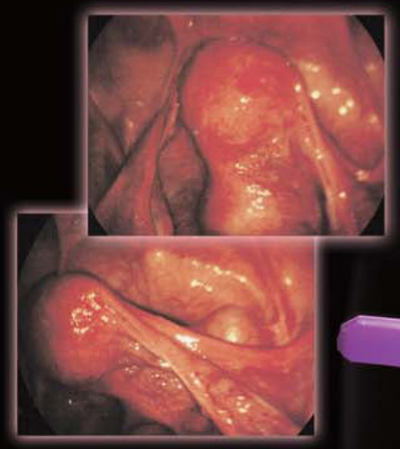
Ken medical

子宮操作通水器具

A SIGNIFICANT ADVANCEMENT IN UTERINE POSITIONING AND CONTROL

一歩進んだ内視鏡器具

内視鏡下手術における幅広い適応／骨盤腔内の露出／
鉗子等のアクセス／上下、左右方向への子宮操作
卵管色素テスト／卵管造形／LAVH時の子宮固定



MORE ROOM TO WORK

RūMI II™

Rowden Uterine Manipulator Injector

ケン・メディカル株式会社

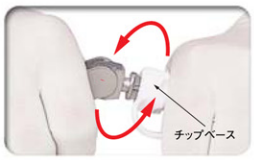
一歩進んだ内視鏡用器具

回転グリップとトリガーの操作により上限90°～下限50°の範囲内での動きと、九段階の角度の固定が可能になり、
またグリップを左右に倒す事により子宮全体も同様に動き、視野の確保が容易になりました。

装着手順

※チップベースとスナップドラムの装着が困難な場合は、スナップドラムの先端に滅菌ゼリー等を付けて装着して下さい。

1 サポートロッドをスナップドラムの穴に挿入して下さい。



2 チップベースを時計回りに回転させながらスナップドラムに被さるまで差し込んで下さい。(反時計回りに回転させると装着できません。)

3 上記の図のように、差し込まれればOKです。

4 チップベースを完全な位置に装着し、チップが抜けない事を確認して下さい。

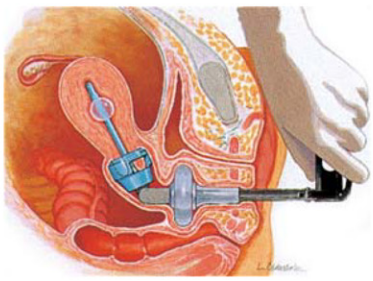
内視鏡下手術に於ける幅広い適応

- ●骨盤腔内の露出
- ●卵管色素テスト
- ●鉗子等のアクセス
- ●卵管造影
- ●上下、左右方向への子宮操作
- ●LAVH時の子宮固定

カタログNo.	商　品　名	単　位
UMH600	ルミII リューザブルハンドル	(1本)
UML516	ルミII ディスポーザブルチップ(5.1mm径×6cm)	(5本入・1箱)
UMW676	ルミII ディスポーザブルチップ(6.7mm径×6cm)	(5本入・1箱)
UMB678	ルミII ディスポーザブルチップ(6.7mm径×8cm)	(5本入・1箱)
UMG670	ルミII ディスポーザブルチップ(6.7mm径×10cm)	(5本入・1箱)
KCS-30	ディリニエイターカップ(ステンレス30mm)	(1ヶ入)
KCS-35	ディリニエイターカップ(ステンレス35mm)	(1ヶ入)
KCS-40	ディリニエイターカップ(ステンレス40mm)	(1ヶ入)
KCP-30	ディリニエイターカップ(合成樹脂30mm)	(1ヶ入)
KCP-35	ディリニエイターカップ(合成樹脂35mm)	(1ヶ入)
KCP-40	ディリニエイターカップ(合成樹脂40mm)	(1ヶ入)
CPO-6	ニューモオクルーダー	(6ヶ入・1箱)

コルポトマイザーシステム

Dr.KOH考案の“コルポトマイザーシステム”は、ディリニエイターカップとニューモオクルーダーから構成される腹腔鏡下膣壁切開システムです。ルミシステムに装着し、子宮の可動性を最大限に活かし、処置範囲の視野を広げ、巧みな操作に十分なスペースを提供しつつ、安全で正確な切開部位の決定をサポートします。



ニューモオクルーダー

気腹ガス漏れを防止するバルーンで、膣壁切開、ダグラス窩切開後も通常どおり腹腔鏡処置を行うことができます。

ディリニエイターカップ

適切な切開部位を確認でき、予定外部位の切開、穿刺を防止します。材質は合成樹脂(Ultem)とステンレスの2タイプがあり、それぞれ3.0・3.5・4.0cmの3サイズを御用意しております。

※ルミⅡディスポーザブルチップ及びニューモオクルーダーは、ディスポーザブル製品につき再滅菌・再使用はしないで下さい。※仕様・形状・価格については、改良等の理由により予告なく変更することがあります。

承認番号 20700BZY00600000

輸入総販売元
ケン・メディカル株式会社

本　　社：〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘1丁目22番18号
TEL 06(4962)5060（代表）　FAX 06(4962)5070

東京営業所：〒113-0034 東京都文京区湯島4丁目5番7号 目黒ビル
TEL 03(3818)6621（代表）　FAX 03(3818)6595

取扱代理店

ルミⅡリューザブルハンドル及びディリニエイターカップの洗浄、滅菌について

【 予備洗浄 】

・ 器具が乾かないように滅菌水にて付着物を洗い流し予備洗浄を行って下さい。
・ 付着物が取れない場合は石鹸水に浸し、柔らかいブラシ又は清潔で柔らかい布を使用して擦り落とした後滅菌水で洗い流して下さい。

注 意: 粘液、血液又その他の体液が凝固する恐れがあるため、熱い水、アルコール、消毒剤は使用しないで下さい。
洗浄、浸漬に生理食塩水を使用しないで下さい。
血液又は体液がついた状態で器具を乾燥させないで下さい。
金属ブラシやスチールウール、研磨剤を使用しないで下さい。

【 洗　浄 】

・ 酵素洗剤を使用して洗浄して下さい。(超音波洗浄可能)
・ 器具に付着した組織等を除去する際、必要な場合は柔らかいブラシを使用して洗浄を行って下さい。
・ 洗浄中は器具を完全に浸けた状態で行って下さい。
・ 洗浄後、蒸留水を用いて洗い流して下さい。

注 意: 酵素洗剤の使用に関しましては取扱説明書に従って下さい。
洗浄剤には pH4 以下の強酸、又は pH10 以上の強アルカリを使用しないで下さい。
ルミⅡリューザブルハンドルにつきましては決して分解しないで下さい。

【 点　検 】

・ 洗浄後、汚れ等が残っていないか確認して下さい。残っている場合は、再度、洗浄を行って下さい。
・ 錆、表面の損傷、亀裂の兆候が見られた場合、使用しないで下さい。
・ 必要に応じて、潤滑剤を塗布して下さい。潤滑剤は、抗菌性及び水溶性のものを使用して下さい。

注 意: ミネラルオイル又はシリコーンスプレー、石油系潤滑剤は使用しないで下さい。

【 滅　菌 】

・ 必ず御使用前に高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)及び EOG(ガス)滅菌、プラズマ滅菌の何れかを行って下さい。
・ 滅菌に際しては日本薬局方(参考情報 11. 微生物殺滅法 2.滅菌法 2-1 加熱法 (i)高圧蒸気法、2-3 ガス法)或いは ISO/TS 17665-2 に示される条件を準用して下さい。又滅菌器に関する詳細は滅菌器の取扱説明書に従って下さい。

≪局方の高圧蒸気滅菌条件≫　115～118℃で 30 分
121～124℃で 15 分
126～129℃で 10 分

≪ISO 高圧蒸気滅菌条件≫　121℃で 15 分
126℃で 10 分
134℃で 3 分

・ EOG(ガス)滅菌の場合はエアレーションを行って下さい。(プラズマ滅菌の場合はエアレーション不要。)

注 意: オートクレーブ滅菌の場合、ハンドルのグリップ部分及びディリニエイターカップの合成樹脂製タイプは庫内の金属部分に接触しますと熱で変形する恐れがあります。必ず覆布やガーゼなどを巻いてから滅菌器に入れて下さい。

ケン・メディカル株式会社